

## アカガネオサムシ

*Carabus granulatus telluris* Bates

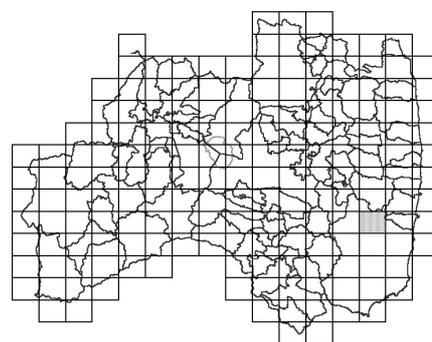
【選定根拠】 b 分布域の一部で生息条件悪化

【形態】 体長18～24mm。上翅は全体黒色を呈し、一部微弱な暗銅色をしている。

【分布】 北海道と本州に分布し、それぞれ別亜種となっている。河川や沼周辺の湿地などで見つかるが、その分布は局地的である。

【県内の分布、生息状況】 いわき市の河川上流域で見ついているだけである。

【生息に影響を与えている要因】 河川改修 湿地開発



## オオハンミョウモドキ

*Elaphrus japonicus* S. Ueno

【選定根拠】 a 分布域の一部で個体数が減少

【形態】 体長8～8.5mm。体には銅色の光沢がある。複眼が大きくて著しく突出し、触角は短い。上翅には眼状紋があり、丸い溝で囲まれる。

【分布】 本州北東部に分布しているが、その分布は連続的ではなく、東北地方から長野県にかけて点々と産地が見ついている。

【県内の分布、生息状況】 只見町と檜枝岐村のブナ帯～針葉樹林帯下部にある湿地から見いだされている。

【生息に影響を与えている要因】 湿地開発

【主要文献】

山屋茂人(1987)新潟県におけるオオハンミョウモドキの新産地. 月刊むし, (202): 15.

